



市民みんなで
まるごと地域共生社会

第3期合志市
地域福祉計画・地域福祉活動計画

平成30(2018)年～平成34(2022)年

合志市・合志市社会福祉協議会

地域福祉ってなに？

「地域福祉」には、地域に住む誰もが“しあわせな暮らし”を送ることができる地域をつくっていく、という意味が込められています。そのためには、様々な人が関わり合いながら、助け合い、協力できる基盤をつくっていくことが大切です。

合志市が目指すところ

市民みなでまると地域共生社会



地域福祉の推進に大切な「自助」「互助」「共助」「公助」の考え方



自助 自分や家族が主体となり、自らを支えること

互助 インフォーマル[※]な相互扶助
※【インフォーマル】制度に基づかない支援等

共助 制度化された相互扶助

公助 「自助」「互助」「共助」で対応できない状況への公的な支援

ポイント
それぞれの役割を「連携」によりつなぐことが大切です。



「地域福祉計画」と「地域福祉活動計画」

「地域福祉計画」は、市町村が策定する計画であり、地域福祉を推進していくための理念や総合的な方向性を示すものです。「地域福祉活動計画」は、社会福祉協議会（この概要版のなかでは「社協」と表記しています）が中心となって取り組む、地域福祉の推進を目的とした活動・行動計画です。

この計画は、地域福祉の理念と具体的な取り組みを整理し、より実践的な活動へつなげるため、両計画を一体的に策定したものです。

ストーリー



身近なところから、 合志市の地域福祉を考えてみましょう！

この概要版では、地域福祉について身近に感じられるよう、Aさん、Bさん、Cさん、3人の合志市民による様々なストーリーを展開しています。
皆さんも、このストーリーを参考にしながら、近所付き合い、自分や家族、ご近所の困りごとの相談、一人暮らしの高齢者などへの気づきや通報など、地域福祉についてできることをはじめてみましょう！

基本目標

1

つながりと支え合いの輪を広げる

- ◎ご近所とのつながりと支え合いの輪を広げる
- ◎地域のつながりを下支えする
- ◎みんなに福祉の大切さを伝える



ストーリー 1

近所付き合いのきっかけ



Aさんは夫の転勤で引っ越してきたばかりです。子どもはまだ小さいため保育園にも通っておらず、近所付き合いもほとんどありません。地域とのつながりがないまま子育てをしていくことに不安を感じています。

地域福祉計画で実現すること

Aさんは、「ほっかぽかサポート」や「ファミリーサポート」があることを知り、地域の人たちからサポートをもらえるようになりました。これをきっかけに、地域とつながりが持てるようになっていきます。

Aさんは、ファミリーサポートの協力会員となり同じような人たちのために時間があればサポートをするようになりました。また、こうした交流で自分に困り事があったら相談できる人もできました。Aさんは、お互いに支え合いながら地域で暮らしていることを実感しています。

合志市と社会福祉協議会の取り組み

- さまざまなイベント、サポート活動を通して、住民同士のつながりをつくっていき、そのつながりの輪・支え合いの輪を広げていきます。
- 住民が進んで地域で活躍でき、地域社会の中で豊かに暮らせるようにします。また住民の地域における多様な活動が続けられるように、さまざまなサポートをおこない、住民同士が支え合える雰囲気をつくります。

- ✓【ほっかぽかサポート】 住民参加型の支え合い活動であり、ちょっとしたお手伝いをするすることで、住民同士のつながりを作っています。
- ✓【ファミリーサポート】 公的サービスで補えない子育てニーズを地域の力で支え合う活動です。急な病気などの支援依頼に協力会員と協力しながらお母さんたちを助けます。

基本目標

2

地域の担い手の輪をつなげ、 地域の福祉力を高める

- ◎地域を支える人たちを支援する
- ◎地域を支える人を育てる
- ◎各種団体との連携、支援



ストーリー 2

福祉に興味ある学生



Bさんは、近年起こった地震の時、私にも何かできないかと思い、家族や友達と一緒に災害ボランティアとして被災地でボランティア活動をおこないました。その経験から、これからも何かボランティア活動がしたいな、と漠然と思っています。しかし、具体的にどうしたらよいかわからず、一人で参加するのも気が引けてしまいます。友だち同士で気軽に参加できたらいいな、と思っています。

地域福祉計画で実現すること

Bさんは、学校を通してボランティア活動を紹介してもらいました。また、両親にも相談したところ、合志市ではボランティアを養成するためのいろんな講座があることを聞き、「オモイカタルバ」に参加しました。

Bさんは、講座に参加したり、先輩の話を聞いたりして、ボランティア活動を始めました。ボランティア活動を通して、いろんな人たちと交流でき、いろんな刺激を受けています。Bさんは、今では高齢者サロンのお手伝い等様々な世代と関わりができ、いきいきと活動しています。

合志市と社会福祉協議会の取り組み

- 住民が、地域の活動に気軽に参加してもらえるよう、PRや活動内容を工夫します。またボランティアを継続してもらえるよう、研修内容等も検討していきます。各団体の交流を進め、活動を活発化させていきます。
- 暮らしのなかでちょっとした困りごとを、住民同士の支え合いで解決できる地域を目指します。そのために、各種サポーターを養成していきます。

- ☑【オモイカタルバとは】 自分の『想い』を『語る』『場所』=オモイカタルバが名前の由来です。ボランティア活動や楽しいイベントを通して、新しい友だち・つながりづくりや誰もが気軽に集まれる“あたたかい”居場所づくりを目的に、定期的な活動を行っています。

基本目標

3

相談・支援体制の連携の輪を強める

- ◎どんなことでも気軽に相談できる体制をつくる
- ◎弱い立場にある人をみんなで助ける
- ◎地域における包括的な支援



ストーリー 3

近所の人を助けない



Cさんは、ボランティアとして一人暮らしの高齢者を訪問しているなかで、相談を受けました。「電球を替えたり、ごみ出しをしたり、ちょっとしたことで困っている。誰か手伝いをしてくれる人はいないものか…」

一方、ボランティアの勉強会のなかで、ちょうど同じ話が出ていました。「一人暮らしで困っている高齢者のお手伝いをしてあげたい。でも、プライバシーの問題もあり申し出ることもなかなか難しい…」

この二つを結びつけていきたいけれど…。Cさんは頭を悩ませています。

地域福祉計画で実現すること

暮らしている地域の区長さんに相談したところ、ヴィーフル1階に相談窓口があり、そこに相談したらいいよと言われ、適切なアドバイスを受けることができました。Cさんが懸念していた一人暮らしの高齢者の方も、無事支援につながっているようです。

それから、Cさんは、地域で活躍しているサポーターたちと相談し合いながら、地域で暮らす人たちの困り事や悩み事を解決するために奮闘しています。

合志市と社会福祉協議会の取り組み

- 地域のなかに暮らす弱い立場にいる人たちを、見逃すことなく、みんなが協力して支援していきます。また、みんな協力し合って、いざという時のために備えていきます。
- 地域の人たちのつながりを原動力として、より多くの人の協力を得ながら、さまざまな支援を行います。
- 地域における社会福祉協議会の存在感を高めるために、職員が積極的に地域に顔を出し、地域のニーズ等に対して的確に応えられるようにします。また、多様な相談を受け付けられるよう、職員のスキルアップを図ります。そして、相談者を最適なサービスへとつなげていきます。

✓【福祉の総合相談窓口】



ヴィーフルくん

ヴィーフル1階には、健康、生活困窮、子育て、女性支援、高齢者の介護、認知症等福祉に関する総合的な相談窓口があり、福祉に関するワンストップ・サービスを提供します。暮らしの中で不安に感じることを、解決できるようアドバイスします。各相談窓口先は、最後のページをご覧ください。

計画の基本理念を実現するために、以下の枠組みで施策を進めていきます。

基本目標

1

つながりと支え合いの輪を広げる

これからの地域福祉においては住民間のつながりがとても大切になってきます。住民同士がお互いを気にかけて合いながら、協力しあって支え合うことが必要です。

前期計画より引き続き、さまざまなサポート活動を通して住民間のつながりをつくっていきます。また、住民間のつながりを維持するための支援活動を行います。交流の場を充実させ、ボランティア活動や地域活動を活発化し、社会参加の機会の充実を図ります。

また、より多くの人にボランティアに関する情報が伝わるように、広報の仕方を工夫します。

基本目標

2

地域の担い手の輪をつなげ、地域の福祉力を高める

地域の福祉を担うのは住民一人ひとりであり、地域の暮らしを良くしていくためには、住民の地域参加が必要です。

住民が地域へ参画しやすくなるよう、地域活動への参加意向・ニーズを捉え、活動内容を工夫していきます。また、ボランティア活動が継続できるように環境を整え、ニーズに合わせて社会福祉協議会の研修内容等も検討していきます。また、各団体の交流を進め、活動を活発化させ、各種団体と連携を図り、地域福祉をより良くしていきます。

基本目標

3

相談・支援体制の連携の輪を強める

住民が安心して暮らすためには、不安に感じていることを相談でき、問題を解決できることが必要です。誰もが必要なときに適切な福祉サービスを利用できる体制をつくります。

そのために、職員が積極的に地域に顔を出し、地域のニーズ等に対して的確に応えられるようにします。また、多様な相談を受け付けられるよう、職員のスキルアップを図ります。そして、相談者を最適なサービスへとつなげていきます。

また、その地区の状況、特性に合った福祉サービスを提供します。そのために、福祉サービスに関する情報提供、相談支援体制を充実させ、各種専門機関や民間事業所と連携し、サービスを利用しやすい仕組みづくりをすすめます。

市と社会福祉協議会は、「市民みんなでまるごと地域共生社会」という理念を実現するために、次のような体系で取り組みをおこなっていきます。

基本
理念

「市民みんなでまるごと地域共生社会」

基本目標	取り組みの柱	取り組み
つながりと支え合いの輪を広げる	ご近所とのつながりと支え合いの輪を広げる	1. ぽっかぽかサポート 2. ファミリーサポート 3. 各種交流活動の支援 4. ふれあいいきいきサロン事業
	地域のつながりを下支えする	1. 見守りネットワーク事業 2. 福祉座談会の推進、活動支援 3. 地域防災活動支援 4. 生活支援事業 5. 地域福祉連絡協議会活動
	みんなに福祉の大切さを伝える	1. 健康福祉学習支援 2. 広報活動 3. 全般的な啓発活動
地域の担い手の輪をつなげ、地域の福祉力を高める	地域を支える人たちを支援する	1. ボランティアセンター事業 2. ボランティア連絡協議会支援 3. 各種ボランティア養成 4. 民生委員児童委員の支援
	地域を支える人を育てる	1. 各種サポーターの育成
	各種団体との連携、支援	1. 民間活力を活用した福祉モデルの構築 2. 各種団体との連携、支援
相談・支援体制の連携の輪を強める	どんなことでも気軽に相談できる体制をつくる	1. 相談窓口体制の充実
	弱い立場にある人をみんなで支える	1. 地域包括ケアの充実 2. 成年後見、権利擁護事業 3. 要支援者の把握 4. 要支援者の災害時訓練
	地域における包括的な支援	1. 地域子育て支援 2. 障がい児（者）支援 3. 介護に関する支援 4. 認知症対策 5. 災害対応 6. 新しいサービス等の開発



こままときの相談窓口先一覧

介護や認知症など高齢者支援に関すること

名称	連絡先	住所・場所	受付時間等
高齢者支援課	248-1102	合志市役所	午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（月～金）
合志市地域包括支援センター	248-1126	ヴィーフル 1 階	午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（月～金）
熊本県認知症コールセンター	355-1755	熊本市中央区上通町 3-15 ステラ上通ビル 3 階	午前 9 時～午後 6 時（水曜日以外の毎日）

子育て支援や児童福祉に関すること

名称	連絡先	住所・場所	受付時間等
子育て支援課	248-1162	合志市役所	午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（月～金）

女性支援や要保護児童支援に関すること

名称	連絡先	住所・場所	受付時間等
女性・子ども支援課	248-1199	ヴィーフル 1 階	午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（月～金）

障がい者支援に関すること

名称	連絡先	住所・場所	受付時間等
福祉課 障がい福祉班	248-1144	合志市役所	午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（月～金）
れんがの家（社会福祉協議会）	242-2271	合志市須屋 2540	午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分（月～金）

生活困窮等に関すること

名称	連絡先	住所・場所	受付時間等
合志市生活支援相談センター 安心サポート合志	248-1100	ヴィーフル 1 階	午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（月～金）
福祉課 社会福祉班	248-1144	合志市役所	午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（月～金）

ボランティアや地域福祉全般に関すること

名称	連絡先	住所・場所	受付時間等
合志市社会福祉協議会	242-7000	合志市須屋 2251-1 ふれあい館内	午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分 （年末年始は除く）

健診・予防接種・健康づくりなどに関すること

名称	連絡先	住所・場所	受付時間等
健康づくり推進課	248-1173	ヴィーフル 1 階	午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（月～金）



合志市地域福祉計画・合志市地域福祉活動計画
発行：合志市福祉課 合志市社会福祉協議会

〈合志市福祉課〉

熊本県合志市竹迫 2140

電話：096-248-1144 FAX：096-248-1196

MAIL：fukushi@city.koshi.lg.jp

〈合志市社会福祉協議会〉

熊本県合志市須屋 2251-1 ふれあい館内

電話：096-242-7000 FAX：096-242-6635

MAIL：info@koshi-syakyo.or.jp

